

[nitta_01]

活動タイトル	DIALOGUE FOR TOMORROW 第三回テーマ「ENERGY エネルギー」
実施日	2021年6月26日
場所	せんとぴゅあコミュニティホール（東川町）
対象数	11人
内容	<p>DIALOGUE FOR TOMORROW は、未来を幸せに暮らすための世界の実践事例について「食・教育・エネルギー・経済・民主主義」の5つのテーマに分けて紹介している映画「TOMORROW (2015年公開)」を各テーマ別に鑑賞し、それぞれのテーマについて参加者を交えて対話する企画で、私の運営するファーム・レラと東川で大人たちの学び舎づくりをしている Compath さんが共同で開催しています。</p> <p>6月26日に実施した第3回のテーマは「エネルギー」で、私はファシリテーターを務めました。また、ゲストに北海道地球温暖化防止活動推進員の岡崎朱美さんをお招きし、ゲストや主催者、参加者とが、映画から関心を得た事や、東川町での温室効果ガス削減のライフスタイルの在り方、個人やコミュニティで取り組むべきこと、政策に対して私たちができることなどについて積極的に意見を交わしました。</p> <p>この催しでは特に対話に重点を置いており、単に言葉をやりとりするだけではなく、聞く力と話す力を高めるために聞き役・話し役の時間を制限したり、トーキングスティックというアメリカ先住民が議論する際に用いた道具を使用したりするなど、対話の取り方にも工夫しました。</p> <p>また、ゲストの岡崎さんからは気候変動抑制に関する国際的な取り決めであるパリ協定や日本政府による2050年カーボンニュートラル宣言の解説から、省エネ性能ラベルの推進と市民の取り組みの関りや、契約アンペア数と上手に付き合う家電の使い方など、暮らしの中の温暖化防止の実践方法まで紹介いただきました。参加者からは「エネルギーと自分とのかかわりについて堅苦しくなく考えられた」「環境への関心はあったが、知らなかったことが多かった。知ることができて良かった」「帰ってから直ぐに実践したい」「日々の暮らしの中からできることがあると気づいた」との前向きな声が聞かれ、私たち主催者のねらいであった「双方向コミュニケーションによる情報提供や参加者のポジティブで主体的な行動につながる場づくり」を達成できたのではないかと考えています。</p>
実施写真等	